

Ⅲ. 分析と今後の取り組みについて

議員のなり手不足解消	
結果 分析	<p>○町民のために議員として働いてみたいと思いますか？(回答者数:260名)</p> <p>「1. ぜひやってみたい」 : 1.9% (5名)</p> <p>「2. 条件が整えばやってみたい」 : 6.5% (17名)</p> <p>◎「2. 条件が整えばやってみたい」と回答した層の条件 (回答者数: 17名)</p> <p>「2. 家族や周辺の応援が得られれば」 : 88.2% (15名)</p> <p>「1. 報酬が充分(生活可能)であれば」 : 70.6% (12名)</p> <p>◎なり手不足の原因 (回答者数: 246名)</p> <p>「10. 議員の仕事に魅力を感じない」 : 45.5% (112名)</p> <p>「4. 議員と自分の仕事の両立が難しい」 : 43.9% (108名)</p> <p>「11. 町のことや政治に関心がない」 : 24.7% (61名)</p> <p>「6. 地域・集落・親族のしがらみがある」 : 21.1% (52名)</p> <p>「2. 議員報酬が少ない」 : 20.7% (51名)</p> <p>○町議会議員になるとしたら、議員報酬は月額いくくらいが妥当だと思いますか？ (回答者数: 231名)</p> <p>「2. 月額25万円～30万円未満」 : 39.0% (90名)</p> <p>「1. 月額20万円～25万円未満」 : 28.6% (66名)</p> <p>「3. 月額30万円以上」 : 23.8% (55名)</p> <p style="text-align: right;">※○1つを選択 ◎複数選択</p>
課題	<p>●経済的・時間的なハードル:議員報酬の不足や、議員活動と本業・家事の両立の困難さが、特に若年層や現役世代の参入を阻害している。</p> <p>●心理的・社会的なハードル:議員活動の魅力が伝わっていないこと、地域・集落のしがらみ、選挙費用の捻出困難が、立候補へのハードルを上げている。</p>
解決策 として 考えら れる案	<p>▼全体的に求められていること:議員活動の「経済的安定性」「柔軟性」「魅力」を高め、多様な人材が立候補しやすい環境を整備することが求められている。</p> <p>▼短期的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な仕事内容ややりがい、町政への貢献度を発信 ・若者や女性対象の議会見学や意見交換会の開催 <p>▼長期的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬の適正化 ・家事や仕事との両立可能な議会運営の検討 ・学校教育との連携 <p>★現在取り組みを進めていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬の適正化にかかる要望書提出

町民に分かりやすく開かれた議会運営	
結果 分析	<p>○中山町議会の活動などの情報が、どの程度、周知されていると思いますか？ (回答者数: 260名)</p> <p>「3. あまり周知されていない」 : 36.9% (96名) 「5. わからない」 : 27.7% (72名) 「2. おおむね周知されている」 : 27.7% (72名)</p> <p>◎どのようにして中山町議会の情報を得ていますか？ (回答者数: 265名)</p> <p>「3. 議会だよりで得ている」 : 66.8% (177名) 「8. 特に情報は得ていない」 : 27.2% (72名) 「7. 新聞を読んでいる」 : 10.2% (27名) 「2. 議会ホームページで得ている」 : 4.2% (11名)</p> <p>○議会の録画映像配信を見たことがありますか？ (回答者数: 265名)</p> <p>「2. 見たことがない」 : 51.3% (136名) 「3. 知らなかった」 : 46.0% (122名) 「1. 見たことがある」 : 2.6% (7名)</p> <p style="text-align: right;">※○1つを選択 ◎複数選択</p>
	<p>●情報発信の不足と内容の難解さ: 議会活動の情報が町民に十分に届いておらず、特にデジタル媒体の認知度が低い。議会だよりや映像配信の内容が専門的で分かりにくい。</p>
	<p>▼全体的に求められていること:町民の多様な情報ニーズに応え、情報格差を解消するための多角的な情報発信と、町民が議会に意見を伝えやすい双方向のコミュニケーションチャネルの構築が求められている。</p>
	<p>▼短期的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりの改善(写真や図の多用、分かりやすい表現、町民の関心を引く企画) ・町民が直接議員と対話できる機会の創出 ・町議会ホームページの改善 ・町公式LINEの活用
	<p>▼長期的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS(X, Facebookなど)の活用の検討 ・議会録画映像の要約版やハイライト動画の作成の検討 <p>★現在取組みを進めていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりの紙面リニューアル ・定例会開催予定のポスター掲示、LINE配信 ・常任委員会ごとに意見交換会の開催
解決策 として 考えら れる案	

	議会機能の強化
結果 分析	<p>○議会は、町のお金が無駄なく最大限にチェックする役割がありますが、中山町議会はこの監視機能をどの程度果たしていると思いますか？（回答者数：266名）</p> <p>「5. わからない」 : 47.7%（127名） 「2. おおむね果たしている」 : 35.3%（94名） 「3. あまり果たしていない」 : 13.2%（35名）</p> <p>○町民の意見が中山町議会に反映されていると思いますか？（回答者数：263名）</p> <p>「5. わからない」 : 45.2%（119名） 「2. おおむね反映されている」 : 27.0%（71名） 「3. あまり反映されていない」 : 22.4%（59名）</p> <p>◎議会活性化のために特に力を入れてほしいこと（回答者数：249名）</p> <p>「1. 町民の声を議会に届ける仕組みづくり」 : 47.4%（118名） 「4. 子どもや若者の意見を反映する仕組みづくり」 : 45.8%（114名） 「7. 議会の政策提案力の強化（町の課題への積極的な提言）」 : 37.3%（93名） 「2. 議会の情報発信の充実（議会だより・SNS など）」 : 26.1%（65名） ※○1つを選択 ◎複数選択</p>
課題	<p>●町民意見の吸い上げと反映の不足： 町民は自身の意見が議会に届き、町政に反映されていると感じていない。</p> <p>●監視機能の不透明性： 議会が町の財政や事業を適切に監視しているかどうか町民に伝わっておらず、信頼が低い。</p>
解決策 として 考えら れる案	<p>▼全体的に求められていること：町民の意見を積極的に吸い上げ、それを町政に反映させるプロセスを透明化するとともに、議会が自律的に政策を立案・監視する能力を高めることが求められている。</p> <p>▼短期的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会、ワークショップ、パブリックコメント制度の活用など、町民から意見を吸い上げる方法を増やす ・町民が直接議員と対話できる機会の創出 <p>▼長期的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員研修の充実（政策立案、調査研究、ICT活用など） ・議会情報公開のさらなる充実 <p>★現在取り組みを進めていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会ごとに意見交換会の開催 ・政策提言書の提出 ・タブレット活用の研修の定期開催 ・予算、決算全協の質疑抜粋を議会だよりに掲載

	身近で信頼される議会
結果分析	<p>○中山町議会議員の活動内容をご存じですか？(回答者数:266名)</p> <p>「2. 少し知っている」 : 61.7% (164名)</p> <p>「3. 知らない」 : 31.6% (84名)</p> <p>○中山町議会の活動について全般的に見てどの程度評価しますか？(回答者数:267名)</p> <p>「2. ある程度評価する」 : 40.4% (108名)</p> <p>「5. わからない」 : 39.7% (106名)</p> <p>「3. あまり評価しない」 : 17.2% (46名)</p> <p>○中山町議会に対し、期待や信頼をしていますか？(回答者数:255名)</p> <p>「2. どちらかといえば期待し信頼している」 : 58.4% (149名)</p> <p>「3. どちらかといえば期待も信頼もしていない」 : 24.3% (62名)</p> <p>○中山町議会議員に意見や要望を伝えたことがありますか？(回答者数: 264名)</p> <p>「2. 伝えたことはない」 : 78.0% (206名)</p> <p>◎意見を伝えたことがない理由 (回答者数: 204名)</p> <p>「1. 議員に接する機会がない」 : 61.8% (126名)</p> <p>「3. 伝えたいことがない」 : 39.2% (80名)</p> <p style="text-align: right;">※○1つを選択 ◎複数選択</p>
課題	<p>●町民との距離感: 町民にとって議会や議員が身近に感じられていない。意見を伝えにくい、活動が見えにくいと感じている。</p> <p>●信頼感の欠如: 議会活動の不透明性や町民意見の反映不足が、議会への期待や信頼の低下につながっている。</p>
解決策として考えられる案	<p>▼全体的に求められていること:議会が町民にとって「身近な存在」となり、「信頼される」ためには、積極的に町民との接点を増やし、双方向のコミュニケーションを強化することが不可欠。</p> <p>▼短期的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が直接議員と対話できる機会の創出 ・議員のプロフィール、活動内容、政策への思い等の発信 ・意見や要望に対するフィードバックの徹底 <p>▼長期的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会自己評価方法の検討 ・議会情報公開のさらなる充実 <p>★現在取り組みを進めていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民アンケートの継続的な実施 ・議会だよりの一般質問記事に「わたしの思い」掲載 ・議会のしおりの作成

年代格差の把握と次世代層の参画促進に向けて	
結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層(40代以下)と高年層の意識差: 議会活動を「知らない」割合は、高年層(50代以上)の24.8%に対し、若年層では58.2%に達しており、33.4ポイントの開きがある。また、議員への意見伝達が「ない」割合は、若年層で92.7%と極めて高い。 ・若年女性の参画意欲の現状: 若年男性(40代以下)の議員志望意向(条件付き含む)が36.0%であるのに対し、若年女性(40代以下)は0.0%という結果が出ている。 ・分析の総括: アンケート全体を通して、「町議会に関する意識や参加意欲」において男女間の差はわずかであるが、年代による「議会との距離感」には顕著な格差が存在している。特に40代以下の層が町政から分断されている現状が示唆される。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代との接点の希薄化: 将来の町を担う世代が、議会活動を「自分たちとは無関係なもの」と捉えている可能性が高い。 ●多様な人材確保への障壁: 特に若年女性において、議員という選択肢が日常の延長線上にイメージしづらい構造的な課題がある。
解決策として考えられる案	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 全体的に求められていること <ul style="list-style-type: none"> ・40代以下の世代と議会との間にある距離を埋め、町政に関与しやすくする仕組みづくり。 ・女性や現役世代が、議員活動を生活の延長線上の選択肢として検討できる環境の整備。 ・町外学生を含む次世代層との継続的な信頼関係の構築。 ▼ 短期的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の活用による議会情報の可視化の検討 ・若年層や女性向けの意見交換の場の検討など ・図解の多用など議会情報を分かりやすく伝える表現の工夫 ▼ 長期的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・仕事や育児との両立やオンライン活用の検討 ・インターンシップや若者対象企画など、次世代育成の可能性の模索 ★ 現在取り組みを進めていること <ul style="list-style-type: none"> ・町民アンケートの定期的な実施による、意識の変化の継続的な把握 ・議会だよりの紙面リニューアルや、LINE等を活用した開催予定情報の配信 ・議会だよりにミュージアムの開催 ・こども向け議会のしおりの作成